

平成30年度から第1次試験（筆記試験）が受験しやすくなりました！



1. 教養試験の変更点

[対象：全試験区分]

- ① 解答数が少なくなりました 50題 → 40題
- ② 試験時間が短くなりました 2時間30分 → 2時間

区分	出題分野	出題数	解答数	
			平成29年度	平成30年度から
選択問題	知識分野（社会科学、人文科学、自然科学）	30題	25題	15題
必須問題	知能分野（文章理解、判断推理、数的推理・資料解釈）	25題	25題	25題
計		55題	50題	40題

2. 専門試験の変更点

[対象：I種のうち一般行政職・警察事務職]

- 事務系の試験区分を受験する場合、出題分野の選択が可能になりました

平成29年度 (選択不可)	政治学(2)、行政学(2)、憲法(4)、行政法(5)、民法(4)、刑法(2)、労働法(2)、 経済学(11)、財政学(3)、社会政策(3)、国際関係(2)	出題 40題	解答 40題
------------------	--	-----------	-----------



<平成30年度から> 申込み時に、次の4科目から1科目を選択

*** 得意の出題分野で受験可能！**

『法律』『経済』は、40題必須（出題分野限定）

『総合A』『総合B』は、60題のうちから自由に40題を選択解答

科目	出題分野 ※（）内は30年度の分野別の出題数	出題数	解答数
『法律』	憲法(5)、行政法(12)、民法(12)、刑法(3)、労働法(3)、 経済学・財政学(5)	40題	40題
『経済』	経済原論(18)、財政学(4)、経済史(4)、統計学(2)、経済事情(4)、経済政策(3)、 憲法・行政法・民法(5)	40題	40題
『総合A』 (選択型)	政治学(2)、行政学(2)、憲法(4)、行政法(5)、民法(4)、刑法(2)、 労働法(2)、経済学(11)、財政学(3)、社会政策(3)、国際関係(2)、 教育学(5)、社会福祉概論(5)、社会学概論(5)、心理学概論(5) ← 追加20題	H29までの 40題 60題	40題 選択解答
『総合B』 (選択型)	政治学(2)、行政学(2)、憲法(4)、行政法(5)、民法(4)、刑法(2)、 労働法(2)、経済学(11)、財政学(3)、社会政策(3)、国際関係(2)、 数学・物理・化学(20) ← 追加20題	H29までの 40題 60題	40題 選択解答

※ 第2次試験では、専門試験で選択した科目にかかわらず、従来どおり試験区分（一般行政職又は警察事務職）毎に一括して、最終合格者を決定します。

<選択例>

- 例1) 法学専攻の人 など 『法律』で申込み
- 例2) 経済学専攻の人 など 『経済』で申込み
- 例3) 法律・経済以外の文系学部の人 など 『総合A』で申込み
平成29年度と同じ出題分野で40題選択も可能。出題分野が広くなり、得意分野を中心にどの問題でも自由に選択。
- 例4) 理系科目の得意な人 など 『総合B』で申込み
数学・物理・化学(20題)と、残りの分野（例えば、憲法、経済学、財政学、国際関係）から20題、計40題選択。

★ 平成31年度の採用試験における募集職種（試験区分）や募集人数、試験内容の詳細等は、「和歌山県職員採用I種（大学卒業程度）試験・資格免許職員採用試験案内」で確認してください。